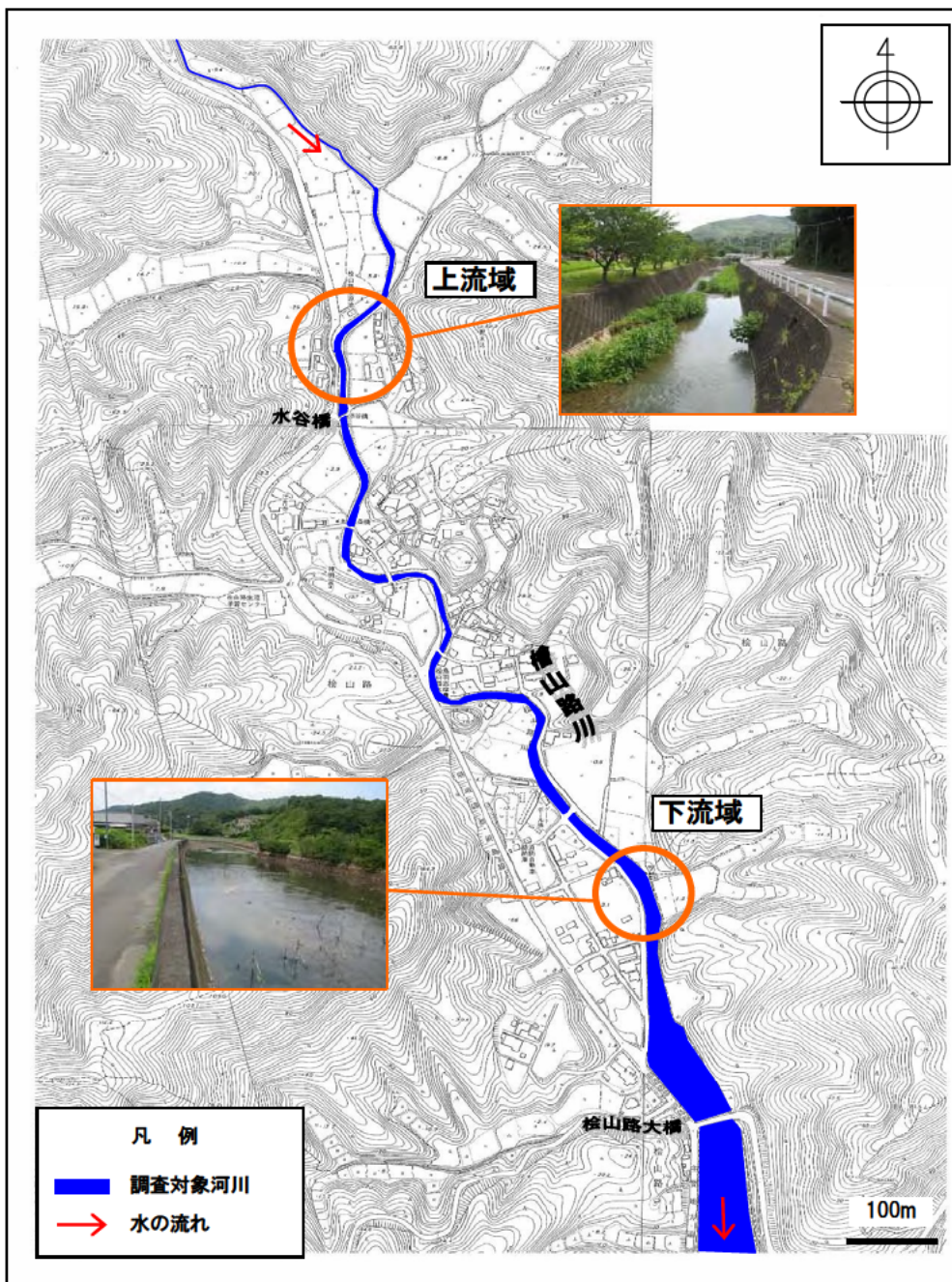


檜山路川水系 身近な生き物ガイドマップ (魚編)



三重県志摩建設事務所

平成21年12月作成






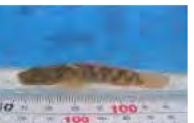


















檜山路川の概況

檜山路川は、三重県志摩市浜島町と同市磯部町との境界付近の山岳地に源を発し、浜島町檜山路地区を南へ流下して英虞湾に注ぐ幹川流路延長 2.8km（法定区間）、流域面積3.35km²の二級河川です。流域は浜島町内のみとなっており、山地が約8割以上を占めている小河川です。

河川水辺の国勢調査について

国土交通省及び自治体により、全国109の一級水系の河川及び主要な二級水系の河川や直轄・水質源開発公団管理のダム及び補助ダムについて、河川を“環境”という観点からとらえた基礎情報の収集整備を目的とした「河川水辺の国勢調査」が実施されています。

志摩建設事務所では、檜山路川水系に生息する生き物を調べる「河川水辺の国勢調査」を実施しています。檜山路川水系では、これまで2回の調査を実施し、合計31種の魚が確認されています。この中には、ウナギやメダカなど近年生息数が減少している貴重な魚が含まれています。また、檜山路川では、今のところ外来生物が確認されておらず、在来種のみ生息する貴重な河川となっています。

	<p>1)ウナギ ◆生息環境 降河回遊魚 河川の中・下流域、汽水域、湖、時には川の上流域 ◆食性 水生昆虫、小魚、貝、エビ、カエル類など</p>		<p>11)ドンコ ◆生息環境 河川上流域下部から中流域の淵が中心 ◆食性 動物食 生きたもののみ</p>		<p>21)ゴクラクハセ ◆生息環境 下流域と汽水域の砂礫底 ◆食性 雑食性 底生動物や水生昆虫、付着藻類</p>
	<p>2)カフムツ ◆生息環境 流れの緩やかな淵を好む ◆食性 生息環境により多様 落下昆虫、底生動物、付着藻類など</p>		<p>12)ボウズハセ ◆生息環境 河川の中・上流域 ◆食性 付着藻類など</p>		<p>22)シマヨシノボリ ◆生息環境 川の中流域を中心に生息 ◆食性 雑食性 主に付着藻類や小型の水生昆虫</p>
	<p>3)ドジョウ ◆生息環境 河川の中～下流域、これにつながる用水路、水田、湿地 ◆食性 雑食性 甲殻類、イトミミズ類、珪藻、植物の茎、根、種子など</p>		<p>13)ミミハセ ◆生息環境 河川の汽水域や下流域、淡水が流入する海岸の潮間帯まで広い ◆食性 ゴカイ類やヨコエビ等の小動物</p>		<p>23)イイヨシノボリ ◆生息環境 河川の中流から上流 ◆食性 雑食性 付着藻類、小型水生昆虫</p>
	<p>4)ゴンスイ ◆生息環境 浅海の岩礁域から砂泥底 ◆食性 成魚は基本的に肉食性、幼魚の頃は主にベントス</p>		<p>14)スミウキゴリ ◆生息環境 河川の汽水域から下流域 ◆食性 動物食性で、水生昆虫や仔稚魚を食べる</p>		<p>24)カフヨシノボリ ◆生息環境 河川の中・上流域の淵の周囲から平瀬にかけての流れのゆるやかなところ ◆食性 付着藻類や水生昆虫</p>
	<p>5)アユ ◆生息環境 若～成魚期は主に河川の中流域、稚魚は秋に降下 ◆食性 成長とともに浮遊動物、水生・落下昆虫 遡上とともに植物食となり付着藻類</p>		<p>15)ウキゴリ ◆生息環境 川の汽水域から中流域 ◆食性 動物食性 水生昆虫や幼魚、エビ類</p>		<p>25)ナマチチヂ ◆生息環境 極めて多様な場所 河川汽水域から中流域、汽水湖、ため池など ◆食性 雑食性</p>
	<p>6)メダカ(南日本集団) ◆生息環境 池、湖沼、用水路、河川下流域など ◆食性 雑食性 プランクトン、小さな昆虫など</p>		<p>16)ビンゴ ◆生息環境 河川の感潮域の泥底から砂泥底 ◆食性 主に底生動物</p>		<p>26)チチヂ ◆生息環境 河口域や下流域 礫・転石、各種人工投棄物などに集まり、隠れ場を占有する傾向もある ◆食性 雑食性 藻類や各種無脊椎動物、小型魚類など</p>
	<p>7)コトヒキ ◆生息環境 沿岸域、内湾、河口域(淡水域には上らない) ◆食性 浮遊動物や底生動物</p>		<p>17)ウロハセ ◆生息環境 河川の河口域や汽水湖、純淡水域への進入はまれ ◆食性 動物食</p>		<p>27)ギマ ◆生息環境 砂泥底域 ◆食性 主に底生生物</p>
	<p>8)ボラ ◆生息環境 沿岸域の浅いところや河川下流域 ◆食性 デトリタス、藻類、甲殻類や多毛類など</p>		<p>18)マハセ ◆生息環境 河川の汽水域や内湾、河口の干潟、河川の下流域 ◆食性 主にゴカイ類、小魚や藻類も</p>		<p>28)ヒガンフグ ◆生息環境 沿岸の岩礁域や防波堤、内湾の砂泥底にも見られる ◆食性 甲殻類や軟体動物、多毛類などを食べる</p>
	<p>9)セスジボラ ◆生息環境 河口と隣接海域 幼魚は春から秋にかけて河川汽水域へ進入 ◆食性 微細藻類やデトリタス、動物性の餌など</p>		<p>19)ヒナハセ ◆生息環境 河川の下流域や汽水域 ◆食性 (不明)</p>		<p>29)クサフグ ◆生息環境 汽水域から下流域 ◆食性 甲殻類、軟体動物、多毛類など様々な動物</p>
	<p>10)メナダ ◆生息環境 沿岸域の浅いところや河川汽水域 ◆食性 デトリタス、藻類、甲殻類や多毛類など</p>		<p>20)アペハセ ◆生息環境 河口の汽水域、有機物が堆積して臭気を放つような泥底を好む ◆食性 雑食性</p>	<p>檜山路川の魚類 ～生息環境と食性～</p>	

確認された魚種リスト

No.	科名	種名	生活型	重要種などの指定状況				下流域		上流域		
				文化財 保護法	環境省	三重県	外来 生物法	2002年	2009年	2002年	2009年	
1	ウナギ	ウナギ	回遊魚		DD			3	4		1	
2	コイ	カワムツ	純淡水魚							69	155	
3	ドジョウ	ドジョウ	純淡水魚							2	9	
4	ゴンズイ	ゴンズイ	汽水・海水魚					1	4			
5	アユ	アユ	回遊魚					4	4	4	9	
6	メダカ	メダカ	純淡水魚		VU	NT			1			
7	シマイサキ	コトヒキ	汽水・海水魚					1	2			
8	タイ	クロダイ	汽水・海水魚					5				
9		キチヌ	汽水・海水魚					1				
10	ボラ	ボラ	汽水・海水魚					40	61	2		
11		セスジボラ	汽水・海水魚					1	1			
12		メナダ	汽水・海水魚						1			
13	ハゼ	ドンコ	純淡水魚							3	14	
14		ボウズハゼ	回遊魚							4	4	
15		ミミズハゼ	回遊魚					5	12		1	
16		スミウキゴリ	回遊魚					2		257	243	
17		ウキゴリ	回遊魚							43	1	
18		ビリンゴ	汽水・海水魚					97	19			
19		ウロハゼ	汽水・海水魚					4	4			
20		マハゼ	汽水・海水魚					101	171			
21		ヒナハゼ	汽水・海水魚					2	17			
22		アベハゼ	汽水・海水魚					18	33			
23		ゴクラクハゼ	回遊魚					6	43	18	1	
24		シマヨシノボリ	回遊魚							38	47	
25		ルリヨシノボリ	回遊魚								1	
26		カワヨシノボリ	純淡水魚								14	
		ヨシノボリ属	-									5
27		ヌマチチブ	回遊魚							49	7	
28		チチブ	回遊魚					118	62	4		
	チチブ属	-							2			
29	ギマ	ギマ	汽水・海水魚						4			
30	フグ	ヒガンフグ	汽水・海水魚						1			
31		クサフグ	汽水・海水魚						1			
種数				0	2	1	0	17	20	12	13	

表中の凡例は以下のとおり。

・重要種などの指定状況

文化財保護法：「文化財保護法」（法律第214号、昭和25年）に基づく天然記念物及び特別天然記念物

環境省：「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物I及び植物IIのレッドリストの見直しについて」

（環境省、平成19年8月3日）の掲載種

三重県：「三重県レッドデータブック2005 動物」（三重県、2006）の掲載種

外来生物法：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」

（平成16年6月2日法律第78号、19年法律第33号改正）の掲載種

VU：絶滅危惧Ⅱ類

NT：準絶滅危惧

DD：情報不足

連絡先 三重県志摩建設事務所 事業推進室 流域課

電話 0599-43-9632